

河川砂防技術研究開発公募(流域計画・流域管理課題分野)平成24年度採択テーマ 中間評価結果

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	関係主体間の境界領域における対応の遺漏に着目した洪水ハザードマップの活用状況と住民の防災・減災意識形成の実態分析	広島大学 塚井 誠人	a	住民へのアンケート調査等による水害発生時の避難に関する住民意識の分析など、研究は着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	住民・コミュニティ・行政が洪水時に相互に期待する役割に関して意識調査を行い、遺漏のない対応体制を提案する。			

評価の凡例

a:非常に優れた研究である。

b:優れた研究である。

c:条件付きで評価できる(研究計画の変更、研究費の減額)

d:次年度の研究継続は認められない(研究の打ち切り)